



華となれ!

宮城県仙台二華中学校
学校だより 第2号
【発行日】 令和2年7月13日
【連絡先】 022-296-8101
【文責】 副校長 加茂 博行

【校訓】 『進取創造』『至誠貢献』

【教育方針】 豊かな心と高い知性を持ち、進取の気風と創造性にあふれ、社会のリーダーとして、わが国や世界の発展に貢献できる人間を育成する。

※題字「華となれ!」には、社会に貢献できる真のリーダー（「華」＝社会の中心）となってほしいという願いを込めています。

泉ヶ岳の大自然の中で 今年度初の校外学習 1年SR巡検開催

7月3日（金）にオーエンス泉ヶ岳周辺において、1年生のSR巡検が実施されました。この行事は、新型コロナウイルスの影響で、4月から延期されていましたが、約3ヶ月遅れで、やっと実行することができました。

当日は感染予防のために、バスの乗降時にはアルコールで手指を殺菌し、運行中にも窓を開けて換気を心がけました。

オーエンスに到着すると、生徒たちは初めての校外行事を心から楽しんでいました。地面に咲いた草花に目を輝かせ、近くを流れるヒザ川のせせらぎに耳を澄まし、新鮮な空気を胸一杯吸い込んで、大自然を満喫しました。

到着して教員から指示を受けると早速活動開始です。午前中は、「我々の木」を観察し、午後は「関口」に移動して、安山岩採集をしました。天候は1週間前から雨の予報でしたが、当日は晴れて、絶好の巡検日和となりました。4月当初予定されていた天体観測などのプログラムを行えませんでした。生徒たちは探究活動の入り口に足を踏み入れることができ満足そうでした。



樹高を測るために工夫をしている生徒たち

この木に決めた! 「我々の木」の観察

午前中の活動は「我々の木」の観察です。山の斜面に広がる林の中から、生徒たちはグループで話し合いながら、1本の木を選定していました。木を選び終わると、早速観察が始まります。胸高直径を測り、根元近くの地面に40cm四方のコドラートを作り、地表面も観察します。観察の中で生徒たちが一番苦労していたのは、樹高の計測でした。生徒たちに出された課題は、「少なくとも2つの方法で樹高を計測しなさい」というものです。木の全体を写真に収めて、手に持った2mの棒と比較したり、三角比を利用して測ったりと、各班とも工夫しながら樹高



木を観察する生徒たち



一生懸命に石をたたく生徒たち



を計測していました。樹高は、秋巡検と冬巡検でも計測します。今回の計測が正しかったかどうかは、秋や冬に確認することになります。

谷間に響くハンマーの音

安山岩採集

午後は、オーエンス泉ヶ岳から 20 分ほど山を登り、「関口」で安山岩採集をしました。この地域にある石は、ほとんどが安山岩ですが、この関口付近にはごくまれに玄武岩が存在します。石の表面は風化して観察には適していないことから、生徒たちは 1 人に 1 つずつ渡された岩石採集用のハンマーで、石を割って観察をします。

授業中に教えられた安山岩の特徴に合致する石を探して、生徒たちは一生懸命でした。何回も石を割って観察し、お目当ての石を探した生徒は、高校の花松先生に「鑑定」をお願いします。「うーん、もう少しだなあ」「これは、大合格だね」、花松先生の鑑定に生徒たちは、一喜一憂していました。今回採集した安山岩は、理科の授業の地学分野で本格的に観察をします。

工夫次第でできること リモートで生徒総会開催

本校では今年度になって、まだ一度も全校集会を行っていません。3密を避ける、人数を収容人数の半分にする等の配慮をするのが難しいからです。

生徒総会は生徒会にとって大変重要な行事ですが、上記の理由から資料配付をもって総会としている学校が多いのではないかと思います。

そんな中、本校では生徒会役員の生徒が知恵を出し合い、ビデオ通話アプリを使って総会を実施しました。3階大講義室で、生徒会役員が発表する様子を、生徒たちは各教室に映し出された映像で視聴します。総会中の質問も、マイクを切り替えながらリアルタイムで行われました。様々な制限で、学校行事の開催が難しい中、生徒たちは工夫を凝らして壁を乗り越えました。今後も工夫次第で開催できる行事については、前向きに検討していきたいと思います。



リモートで資料を説明している生徒会役員